



# 青天 白雲 塾

seiten  
hakuun-juku

世界と日本を考える真のリーダーを育成する

不識庵



## ご挨拶

あなたがステイヴ・ジョブズと対面する場面  
を想像してください。

その時、あなたは、おとなしく彼の発言を  
拝聴するのが精一杯でしょうか。あるいは、パ  
ンデミック、地球温暖化、格差拡大、デジタル・  
トランスフォーメーションに伴う文明転換、文明  
の衝突かと思紛う戦争など、激動の時代に必  
須の「知的関心とヴィジョン」、さらには「自  
身の見解」を示せるでしょうか？

自らの言葉で説得的に語るだけの熱意があ  
り、かつ、そのための知的な準備はできている  
でしょうか？

次世代経営幹部には、世界の一流人材と対  
等に議論し合える存在になってほしい。これが  
「青天白雲塾」の問題意識であり、目標です。

そのために、歴史、哲学、宗教、社会学、  
科学論、人類学などのリベラルアーツ的思考を  
通して、人類文明が直面している課題を掘り  
下げ、解決策を考え抜く力を身につけていた  
だきたいと考えています。

企業人向け研修の多くは、経営戦略論な  
どスキル系の研修が中心ですが、「青天白雲塾」  
は、表面的な知識やスキルを磨くだけでは不  
十分だと考えています。

問題を深く捉え直し、解決策を構想する  
「紋切型を脱した思考」が必須です。

そのような力を身につけるために、何を、  
なぜ、いかに学ぶか——これを過（あやま）  
たずに見定めることが重要です。

みなさんには、異業種交流を特長とする「青  
天白雲塾」の研修を通して、リベラルアーツの  
核心に触れていただきます。

はてしない課題の大海に埋没しない人材、  
途方に暮れない腹の据わった人材、集中した  
知の探求を怠らない人材、リベラルアーツに造  
詣の深い人材こそ現代の企業経営には求めら  
れているからです。

この先なお二、三十年、会社を牽引しなけ  
ればならず、二十一世紀の人類に共通の困難  
を全身で引き受けるほかない経営幹部候補生  
に、「世界と日本」に貢献する度量と技倆を  
身につけていただきます。

教科書を開き、講義を聴くだけの受動的  
な「広く浅い」学習は、一過性であることを  
免れません。講座が終われば忘れてしまうで  
しょう。

また、各種メディアでもインターネットでも、  
一般向け教養教育は盛んです。どんな講座で

も自宅に居ながらにして視聴可能な時代にな  
りました。

しかし、リベラルアーツに「寝ながら学ぶ」  
ような便法は存在しません。

古典古代に起源をもつ人文知（リベラルア  
ーツ）をビジネスに生かすためには、単なる座学  
だけでは不十分であり、「読み・書き・討議し・  
発表する」実践的な訓練が必須です。

この体験を通し、ビジネスにおいて死活的に  
重要な「根源的な問題解決力」も、その前  
提たる「問題の所在をさぐり・表現し・共有  
する力」も身につけていきましょう。

リベラルアーツ研修は、小手先の解決策では  
なく、根本から「日本と自社のあるべき姿」  
を考え直してみることにほかなりません。そ  
れこそが「青天白雲塾」の目指すところです。

株式会社「不識庵」青天白雲塾「塾長

赤井茂樹

塾長 プロフィール

一九五六年、福島県生まれ。東京大学教養学部教養学  
科地域文化専攻フランス科卒業、株式会社朝日出版社  
にて取締役編集長などを務め、多数のリベラルアーツ  
関連書籍の出版を手掛けた。二〇二〇年より株式会社  
不識庵顧問、二〇二二年より「青天白雲塾」塾長。

# 2024年度 募集概要

研修期間	2024年6月~12月のうち、約7か月 (講座日数10日程度 / 基本的に平日の10時から17時)
受講対象	大手企業 経営幹部を嘱望されているミドルマネジメント層のみなさま 各社4名以上~8名以内。定員は40名程度
申込受付期間	第一次募集締め切り・・・2024年2月末日 第二次募集締め切り・・・2024年3月末日
お問い合わせ先	office@fushikian.jp 電話: 03-3292-0320 「青天白雲塾」担当

## 「青天白雲塾」の対象および目的

■ 対象 大手企業 経営幹部を嘱望されているミドルマネジメント層のみなさま

■ 目的 数百年単位で歴史を見わたすと、現在が大きな転換点に立っていることが見えてきます。あらゆる分野における自然科学の制覇、主権国家を凌駕するようなプラットフォームの出現、期待と不安の源泉である人工知能(AI)の台頭、近代の理念(自由・平等・友愛)の無効を宣告するような権威主義国家の出現、先進国で進む民主主義の自信喪失とポピュリズム、そして主権国家と国際関係の理念を破壊する侵略戦争。世界と日本と自社の今後を領導する存在になると期待されているみなさまに、自己啓発的な通り一遍の知識・教養を超えて、文明の根源的な課題をリベラルアーツ(人文知)から汲みとり、危機を打開する知的資源を整えていただきます。

## 「青天白雲塾」の特徴

1. リベラルアーツ(人文知)の広大な沃野から、哲学・思想・歴史・宗教・政治思想・人類学・社会学・日本文化論・デザイン等の、第一線・現役研究者をお招きし、講義をお願いします。
2. そもそも「何を」「なぜ」「いかに」学ぶかを理解し、人文知を実践知につなげる力を養います。
3. 単なる講義聴講ではなく、受講生には主体的な参画を求め、講座ごとに指定する「課題図書」の精読を求めます。
4. 課題図書に準拠した「事前課題」に対するレポート等をご提出いただきます。すべてのレポートにはコメントを添え、添削を施し、受講生にフィードバックします。
5. 異業種混成チームを編成し、チーム単位の討議・発表をお願いします。また、個人単位の発表および個人指導もプログラムに織り込みます。

## 人事部・修了生の声



中外製薬株式会社  
上席執行役員  
人事・EHS推進統括  
**矢野 嘉行**

### 自身の哲学を涵養する場所

激変する不確実な時代、次代を担う経営人財の育成は、経営戦略の最優先事項の一つである。当社では2005年から「不識塾」「青天白雲塾」に派遣、私自身も「不識塾」卒業生であり、のべ46名のリーダーが学びの機会を得ている。将来を見据えた時、経営人財として鍛えるべき要諦として「複雑な状況下でもふれない意思決定」、「企業・社会課題を結びつけ自分事化し、解決につなげる」、そして「ボーダーを越えて他者と共創する」ことが求められる。「青天白雲塾」で学ぶ「リベラルアーツ的思考」により、人生／大局観や倫理観、物事の本質を見極める力、拠り所とすべきふれない軸／信条といった自身の哲学を涵養してもらいたい。同塾での講師陣や他社受講生との真摯な対話を通じ、自分の価値基準に気付き、人間力を向上させ、さらに成長することを期待している



住友林業株式会社 人事部  
スマリンビジネスカレッジ校長  
**久田 剛史**

### 粘り強く、謙虚に、長期にわたって知に接してほしい

先が読めない時代と言われますが、そもそも世の中は広く、認知・理解の及ばないことばかりです。そうであるからには、とりわけ経営幹部候補社員に対して、「青天白雲塾」で、より広く・深く考える鍛錬を積んでほしい、と期待しています。相互に研鑽を積み議論できる同志を得ることが前提になりますし、研修修了後も、知に対して謙虚な姿勢を保ち、粘り強く思考を涵養することを期待しています。ものの考え方にふれない軸を据え、課題を率先して設定していくことが、社員自身の成長と当社の将来に寄与します。当社からは2014年から36名の社員が受講しており、研修修了後、塾で出会った仲間と定期的に勉強会を開いている社員もおります。仕事の面で重要な役割を任せられる社員も多く、「青天白雲塾」でのご指導を引き続きお願い申し上げる次第です。



前田建設工業株式会社  
執行役員  
シェアードサービスセンター長  
**榎原 尚徳**

### 仕事の意義と価値を俯瞰する視座

企業人である私たちは常に何らかの意図をもって活動しています。しかし、活動が本当に意味するところを理解しているか、となると少々疑わしい。身過ぎ世過ぎとは言え、日々の活動（私たちがプロジェクトとして世界に投げかける営為）が一体どんな意義を持ち、どんな影響を揮っているかを正確に把握することは困難なのです。歴史的・地理的・文化的な視点を複数用意し、全体を俯瞰できる場所に立って、自らの活動を対自化する。こうした内省と点検は、現在のような大変革の時代にあっては死活的に重要です。「青天白雲塾」では、言葉を正しく理解し使用することに加え、日々生起する多数の出来事や問題を多面的に受け止める思考訓練がなされます。今を生きる企業人に必須の素養でしょう。今年も、受講生がへとへとだと言いながらも、逆に元気になって帰って来ることを期待しています。



アポロリンク株式会社  
執行役員販売部長  
(前 出光興産株式会社  
人事部採用教育課長)  
2020年度受講

久原 淳平

## DE&Iを実践する場所

私は人事部教育研修責任者として、受講生かつ事務局という立場で参加しました。何冊もの課題図書を読み込み、正解を絞り込めない難題に取り組み、他社の同期塾生と議論を重ねました。仕事であれば、経験を積むにしたがって解決の道筋が見えてくるものです。しかし、塾ではそうはいかない。受講生の誰にとっても、議論の文脈や着地点の見当が付かない。ひたすら問うては壁にぶつかり、自問自答を重ねるしかありません。同期の仲間と多様な視点を交換し、思ってもみなかった新たな着眼点を発見する。DE&Iを各自の心身を駆使して体験することになります。ときに対立する複数の視座に触れ、価値観を鍛え直す機会にもなりました。将来を見据えた成長支援として大変価値があります。私自身、現在も知的好奇心を維持し、視野を広げています。



株式会社アイシン  
安城工場 原価G/グループ長  
兼 ESカンパニー統括部  
事業推進室/事業戦略主幹  
2022年度受講

佐々木 達也

## 価値観の破壊と創造

現代世界は、VUCAの時代と言われるように、変化が激しく先が読めません。判断ではなく決断を求められる機会も増えます。至るところでマインドチェンジの号令が提唱されています。しかし、凝り固まった思考からの脱却は容易でない。そんな時、私は「青天白雲塾」と出会い、大きな衝撃を受けました。リベラルアーツと真剣に向き合った期間は、まさに価値観の破壊と創造の繰り返しでした。課題図書の一章一文から著者の真意を汲み取ろうと熟読したこと、講師・塾生との活発な議論によって熟考と内省を強いられた経験は、自分の視座を高めてくれました。同時に、価値観を柔軟に見直す良い刺激となりました。本研修はビジネスだけでなく、人生における大きな財産であり、私の思考の中軸になっています。

### 組織概要

名称	株式会社 不識庵	住所	東京都千代田区内神田1-14-4 4F
創業	平成22年(2010年)2月22日	電話	03-3292-0320 (FAX 03-3292-0321)
代表取締役	中谷 巖	e-mail	office@fushikian.jp
活動内容	大手企業役員向けの「不識庵プレミアム会」、部長クラス対象の「不識塾」、中堅ビジネスリーダー向け「青天白雲塾」に加え、個別企業のニーズに応じた企業内研修(中堅管理職、部長研修、役員研修など)についても随時、相談に応じております。		

塾の詳細、応募方法については、ホームページも合わせてご覧ください。 [www.fushikian.jp](http://www.fushikian.jp)



Vincent van Gogh, Almond Blossom, 1890  
Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)